

(6) キャリア教育の充実

一人一人の子どもが、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成に努める。

実践事項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

1 キャリア教育指導体制の整備・充実

- ・キャリア教育担当者や進路指導主事を中心とした校内の指導体制を整備する。
- ★基礎的・汎用的能力の育成のため、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にした全体計画及び年間指導計画を作成する。
- ・児童生徒の自己肯定感や生活・学習への意欲につなげるため、適切な評価を行うとともに、教職員相互の連携を密にした上で、全体計画及び年間指導計画の見直し、改善、充実を図る。

※「基礎的・汎用的能力」を構成する4つの能力

「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」

2 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実

- ・「一人一人のキャリア形成と自己実現」の内容を踏まえ、特別活動を要とした指導を充実させる。
- ・『あおもりっ子キャリア・パスポート～明日へのかけ橋～』等の活用を通して、児童生徒が自己の成長や変容を把握し、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりできるように指導・援助する。
- ・児童生徒が自らの意思と責任で、進路選択することができるよう、ガイダンスとカウンセリングの双方により発達を支援する。

※ガイダンス…主に集団の場面で必要な指導や援助

※カウンセリング…個々の児童生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導（教育相談を含む）

3 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

- ・主体的にキャリア形成ができるよう、見通しをもたせたり、振り返ったりする機会や進路選択について意思決定の場を設ける。
- ・体験活動の実施においては、中・長期的な「事前・事後の学習」を充実させる。
- ・家庭、地域等とねらいを共有し、それぞれの役割を明確にした上で連携・協働する。